

語り部活動

定年退職するまで教師だった貞岡由子さん。教え子を再び戦場に送ってはいけないうと、平成9年から平和学習の語り部として市内の各学校で活躍されています。



野市小学校で、戦争の体験を語る貞岡さん

貞岡さんのおもい

10年ほど前から、近くの学校から依頼されて戦争の体験を話しておりますが、はじめは、辛いことを思い出したくない気持ちもありました。

しかし、イラク問題やその他、日本も、心配な方向へ行くのではないかと思わせるような騒がしい世になりましたので、今こそ、戦争を体験した者が、本当の恐ろしさを伝え、子どもたちに平和の尊さを知らさなければと思うようになりました。

戦争の犠牲になられた方々への供養のためにも、戦争と平和の話をし、微力ながらも尽くしていきたいと思っております。

平和学習

学校の取り組み

市内の各小・中学校では、平和学習に取り組んでいます。6月23日、野市小学校では、全校児童生徒が集まり、平和集会を行いました。各クラスが平和を願う短冊を発表し、選ばれた短冊は、みんなで折った六千羽の千羽鶴に結ばれました。その後、貞岡さんの戦争体験を聞き、戦争と平和について学習しました。みんなの願いが込められた千羽鶴は、高知市内のアーケードに飾られました。

ここでは、貞岡さんのお話を聞いた四年生の感想文の一部を抜粋して紹介します。

4年生の感想文から

今生きているからこそ、ゆめにむかっていけるんですよね。だから平和は、すばらしいことだとわかりました。これからもっと長生きします。
中谷 つばさ

わたしは、この話を聞いて、命のおもさなどをしりました。先生から、せんそうの話を聞いてわたしは、大切なことを学んだと思います。平和は、とてもいいことだと思います。
佐野 好美

みんな命があるということを、みんなに伝えたいです。そのいとは、せん死してなくなったことは、わたしも悲しくなっていました。人の命がなくなることは、いけないことです。このわたしの命は、お父さんとお母さんにもらったものだから、大切にしたいです。
田ぶち れん

せんそうは、やってはいけないと思いました。なぜならせんそうは、人をころすためにやるから、人をころすのは世界で一番悪いことだからせんそうは二度とやったらいけないと思いました。
秋山 知ぎ



平和を願う各クラスの短冊を発表

平和を繋ぐ

激動の時代を生き抜いた人たちの心の中には、戦争の記憶が消えることなく残っています。自由を奪われた中で、一生懸命に生きた人たち。今の平和を誰よりも実感し、この平和な日々は、過去にあった戦争への反省が礎となっていることを知っています。

戦争を知らない私たちは、そんな人たちの思いを受け止め、後世へ繋いでいかなければなりません。

「母と妹をよろしく」といういとこからの手紙が届いたときの悲しき、私は、想像できません。

あまりの悲しさに涙がこぼれそうになりました。

「戦争はしてはいけない」ということもわかりました。

平和の楽しさを感じるように私は、生きていきます。

野市小学校四年 島内 きょうか

八月十五日は六十四回目の終戦記念日です。

【参考資料】

○香南春秋「国民学校」世代の体験と歩み
高知香南春秋の会／編

○知覧特攻平和会館パンフレット

【戦時中の写真】

○夜須今昔写真集

○村の記憶、村の記録 よしかわ温故知新

○ユンデーホー赤岡

○水と緑、うるおいの町 野市町へ

○夏雲の彼方に ー学徒動員の記ー

○香我美町徳王子 北岡敏志さん

○高知市升形 池本登志さん